



Shobara Silver

庄原シルバー

会報
新春号
2019.1



—主な内容—

新年の挨拶2
亥年の抱負4
安全委員会6
互助会だより7
事務局だより8
庄原の昔話9

—庄原市シルバー人材センター会員スローガン—

明るく 楽しく 元気よく
今日も一日社会貢献

—— 公益社団法人 庄原市シルバー人材センター ——

新年あけましておめでとうございます

本年も庄原市シルバー人材センターをよろしく願っています。



庄原市シルバー人材センター
理事長 富原豊幸

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は会員の皆様、役職員の皆様には、シルバー人材センター事業運営に格別のご支援とご協力を賜りありがとうございます。

また、就業の場を提供いただきました市民の皆様、事業主・公共団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

昨年は役員改選の年であり、6月から新体制でスタートいたしました。本年もシルバー人材センターの基本理念のもと、役員一丸となり会員の皆様のご支援ご協力をいただきながらセンター発展に努力する所存でございますのでよろしくお願いいたします。



庄原市長
木山耕三

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、旧年中に賜りました格別のご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国は少子高齢化に伴う人口減少の中、深刻な労働力不足となり、労働者の定年延長、女性労働力さらには外国人労働者の受け入れ等検討され、真剣な議論がなされています。

こうしたことから、シルバー人材センターの果たす役割は今後益々重要となり一層期待されてくるものと思われまます。

当センターもさらなる発展を目指し、昨年から5か年に亘る「第3次中期計画」を策定し、課題解決に向けた指針を示しております。これを基本として、新たな会員の確保、就業の開拓、安全な就業等、地域社会に一層信頼され貢献できるシルバー人材センターとなるよう取り組んでまいります。

シルバー人材センターの根幹をなす会員は、昨年末で449名となっております。引き続き新規入会会員を増やすこと、退会者を減らすことに努力してまいりますので、会員の皆様も口コミなどで知人や友人を勧誘していただくなどご協力をお願いします。

末筆になりますが、今年も庄原市をはじめ関係各位のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様の限りないご健勝とご多幸そしてご活躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

昨年を振り返りますと、集中豪雨や台風の上陸、大規模な地震など、自然の脅威を痛感する出来事が相次ぎ、特に7月豪雨では、本市も家屋や道路、農地などに甚大な被害を生じました。

皆様の中にも被災された方がおられると存じます。被災者の皆様に改めてお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興に引き続き努力することをお約束いたします。

さて、今年も亥年でございます。現在、いのししは田畑を荒らす厄介な獣となっておりますが、亥年は十二支の最後の年であることから、「エネルギーを蓄えて次の世代に向かう準備」

備の年」とされておられ、また、今年には元号が改まる新たな時代の幕開けの年でもございます。

こうした社会背景の中にあつて、庄原市シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供されるだけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくり、地域福祉を支える公益社団法人として、重要な役割を果たされております。

とりわけ過疎化が進行し、担い手や人材の不足が懸念される本市では、皆様の力が強く求められており、地域の期待も一層大きくなっていると実感しております。

また、人生100年が現実となりつつある今、健康で長生き、健康寿命をいかに維持するかが問われておりますが、長



庄原市議会議長

堀井 秀 昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

庄原市シルバー人材センターにおかれましては、今日まで一貫して高齢者に生きがいと就業機会を提供され、地域社会の発展と地域福祉の向上にご尽力いただくとともに、大きな成果を上げておられることに対し、改めて敬意を表する次第であります。

昨春秋には、安倍首相が自民党総裁選で連続3選を果たし、第4次安倍内閣が発足しましたが、国難ともいえる少子高齢化や人口減少社会への的確な対応は喫緊の課題であり、

年培つてこられた経験や知識、熟練の技能を発揮され、多様な場面で活躍されている皆様の姿は、誰もが「こうありたい」と願う生き方であろうと存じます。

今年一年、健康で意欲ある皆様が、新たな気持ちで元気に活動されることを願いながら、今後も高齢者が活躍できる社会、健康寿命が維持される地域の実現に取り組んでまいりますので、より一層のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、年頭に当たり、庄原市シルバー人材センターの益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

真に国民生活の安心、安定につながるような取り組みを期待するところであります。

本市においては、高齢化率が既に42%に達し、全国平均より40年以上早いペースで超高齢化社会を迎えております。

高齢者が豊富な経験と知識を地域社会に還元し、地域活動や生きがい就業で活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することは、緊急かつ最優先の課題であり、高齢者の多様なニーズの受け皿として、貴センターの担う役割は、ますます重要なものとなっております。

今後とも、会員増加の取り組みをさらに強めていただくとともに、高齢者の雇用対策及び就労支援の拠点として、健康長寿のまちづくりの一翼を担っていただきますよう、期待するものであります。

市議会といたしましては、市民の負託に応えられる議会として、しっかりと議論を重ねながら、引き続き、高齢者福祉の充実に一層の努力を傾注してまいります所存でございます。

新たな年を迎え、庄原市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご多幸、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

亥年の抱負



「亥年に因んで」

田邊 丈司 (口和)

庄原市シルバー人材センターにとつて、幸先の良い年となることを願うとともに、会員同志が元気で事に当たることができれば幸いに思います。

今年は私の生まれ年に当たりませんが、大きな問題も起こらない安定した年になってほしいと願っています。

私は口和町のシルバー会員として、平成26年から平成30年まで2期4年間、理事をさせて頂き頂きました。また、現在は口和地区班の班長をしています。

地区班での活動については、今年「モーモー祭」はない年ですが、会場になる運動公園の駐車場広場やそのまわりの環境整備はしておく必要があると思っています。

シルバー人材センターの基本理念は、自主、自立、共働、共助であり会員同志が力を合わせて物事を解決していくという考え方であります。

今後もシルバー人材センターの基本理念を頭に置きながら、出来る限り努力していきたいと考えています。



「私の昨今」

清光 正人 (庄原)

平成12年3月、縁あってシルバー人材センターの会員となり、今日に至っています。

現役を引退して間もなく、シルバー会員募集の話聞き、不安でしたが入会しました。

当時のセンター事務所は庄原赤十字病院の向かいにあり、事務室も狭く窮屈な感じでした。現在は、三日市に移転しています。

私はこれまで剪定作業一筋に就労してきました。その間、大勢の人との出会いがあり、親交を深めてきました。しかし反面、多くの別れもありました。楽しかったこと苦しかったこと、今は懐かしく思い出されます。

剪定作業をするうえで、お客さんとの対話もとても大切な時間だった

と思います。長い年月と信頼関係は、私にとつて素晴らしい経験となりました。

また地域班ができてから、わが敷信地区班では6月に会員の親睦と交流を兼ねて、総会を開催しています。グラウンドゴルフと昼食会、更には板橋小学校のボランティア作業や忘年会も行っています。

これからもシルバー会員として、元気で働き続けたいと思っています。



「孫娘と庭の松」

岡田 邦穂 (西城)

あと数か月で平成という元号も終わります。

自分としては、7回目の亥年を迎えました。

我が家では、これまで欠かしたことの無い行事として、旧正月に神々を迎え新年祭を行ってきました。

また、これまで自分にとつては、あつという間の71年間であり、ここまでの人生、波瀾万丈であったと感じています。

しかし、今はこれまでで最も楽しい生活を送っています。それはシルバーの仕事で大好きな庭木の剪定を

しているからです。どんなに疲れていても、剪定バサミを持って仕事を始めると、一遍に心が晴れやかになり、やる気になってくるのです。休日には我が家の樹齢200年を超える松を眺めて英気を養います。

同居している二人の孫娘に、田舎の良さと最も大切な自然と共存する生活を守ってほしい。これが新しい年を迎えた亥年男の願いです。

爺ちゃん今日もシルバーでガンバルぞー。



「亥年を迎えて」

西村勝也（高野）

シルバー人材センターへは、ある方のお誘いで平成21年に入会させていたでいて、早9年になります。

入会した当初は、特に決まった仕事はしていませんでしたが、平成23年頃より水道メーター検針をさせていたでようになりました。

この仕事は2か月に1回ですが、家の農作業などをしてしまうと、すぐに仕事の日になつてしまいます。

特に冬の時期は、除雪をしないとメーターを見ることができず、もう一人の会員と二人での作業となり、

とても手間がかかつてしまいます。毎年、冬の検針の時期になると、雪があまり降らないように祈るばかりです。

今年で7度目の亥年を迎えることになりませんが、周囲の皆様に支えられながら、まだまだ頑張ろうと思つています。

今後もシルバー人材センター会員として、微力ながら協力させていたできたいと思つていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「ありがとう！感謝」

本郷萬明（庄原）

私は、60歳で30数年間勤めた職場を退職しました。そして職業安定所の紹介により広島北部地域職業訓練センター園芸科へ入所し、造園、盆栽、植物管理等を6か月間学びました。

その後、当時のシルバー人材センター事務局長さんへ誘われ、入会しました。入会後からは、剪定班に所属し働いています。

入会当初は、お客様からの依頼を受け、現場へ出向き作業にかかると、剪定を学んだとはいえ、わからない

ことばかりで先輩会員さんの指導を受けながら20年が過ぎ、現在に至つています。

これからも移りゆく四季を楽しみ、美しい自然を作るために樹木と対話しながら作業に専念し、健康には十分留意し、生涯現役で働きたいと思つています。

お客様はもちろんのこと、シルバーセンターの役員、会員の皆様に私が84歳の亥年を元気で迎えられ、ことに感謝しています。ありがとう！



「シルバーでの思い出」

栗原絹枝（庄原）

シルバーへの入会は、石原さんに「シルバーと一緒に仕事をしよう」と声をかけていただいたのがきっかけでした。

また、初めて仕事に出る朝、真新しい手ぬぐいを出して私にかぶり方を教えてくださいました。

何かと先輩方に教わりながら、国営公園での草取り。声を掛け合つたり、大笑いをしたり、楽しかったことがいっぱい思い出されます。

真夏にセメントを練つて、一日中汗だくでメチ塗をしたこと。三次市の

三次願橋の完成前、背丈より長いヨモギを一日中ぬぎくたびれたこと。思えば若かつたな、よくやったものだ、と苦しかつたことほど、今は楽しい思い出になっています。

よい先輩に恵まれ我がままも聞き入れてもらい、感謝しながら10年が過ぎました。

できる事ならもう少しシルバー会員として働きたい、と思うこのごろです。

主人との合言葉は、「無理しんさんな、しんどかつたら休もうで」です。



「シルバーで若さを保っています」

井川啓子（東城）

私は、東城支所長さんや事務局の方々へ支えていただき、毎日楽しく、そして時には愚痴も聞いていただき今日まで過ごしてきました。

朝になると前日のことなど忘れ、出かけていく自分を笑っています。シルバー会員になるまで一度も働いたことがなかった私が、シルバー年齢になり、会員となつて働くことで配分金までいただけてびっくりでした。

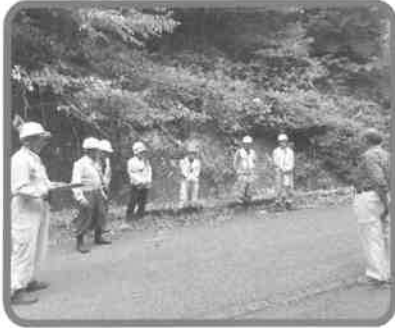
仕事に出ると周りの人たちは皆

年下なので、自分の年齢を忘れて、ついつい頑張つてしまいがちです。自分で自分にセーブ、セーブと言いつ聞かせています。前頭葉への刺激で、いつまでも若さを保つていようと思つこのごろです。

今までの義務は果たし、自由になつて、時には頼られるのもいいものです。このごろ一番に思うことは、体調の管理です。今後は無理せず、いつまでも元気で物事に取り組んでいこうと思つています。

安全パトロールの様子

8月～9月にかけて本所・支所管内で現場巡回パトロールを行いました。



パトロール後には『良好・良かった・保護具の着用・服装(安全ベストを含め)が出来ていた。会員さん一人ひとりの安全に対する意識が高まって来ているように思う』などの意見が多く聞かれました。

一方、刈払機の燃料容器にペットボトルを使用されている会員さんも見受けられましたので、燃料の容器は消防法令の基準に適合した金属製の容器の使用をお願いします。

事故発生状況

平成30年度の庄原市シルバー人材センターでは下記のように物損事故は発生しておりませんが、8件の傷害事故が発生しています。

そのうち4件は猛暑の影響からか熱中症による救急搬送となっています。

	職 種	事故種別	概 要
1	ボンボリ設置	骨 折	2 t ダンプの荷台でボンボリ設置作業をしていたが、ダンプが動いて地面へ転落
2	草 刈	熱中症	草刈作業中に体調不良を訴えて救急搬送
3	側溝清掃	骨 折	市道の側溝清掃作業中、2 t ダンプへ歩み板を掛けて一輪車で積み込みし、降りるとき足を滑らせ荷台から落下し、左膝をつき負傷
4	伐 採	熱中症	ビニールハウス内で作業中、気分が悪くなり救急搬送
5	剪 定	熱中症	剪定の片付け作業中、気分が悪くなり救急搬送
6	草 刈	熱中症	草刈作業中に気分が悪くなり救急搬送
7	枝落とし	骨 折	桜の樹に梯子を掛けて枝落とし作業中、枝が落ちる方向が予測に反して自分の方に倒れてきて枝と一緒に転落
8	検 針	打ち身	水道メーターの検針中に交差点で交通事故(車対車)



米寿・喜寿祝賀会と 新年互礼会を開催



平成31年米寿・喜寿祝賀会並びに新年互礼会が1月13日に開催されました。
はじめに森木萬利会員互助会会長があいさつをし、その後、ご来賓の木山耕三
庄原市長と堀井秀昭市議会議長から祝辞をいただきました。

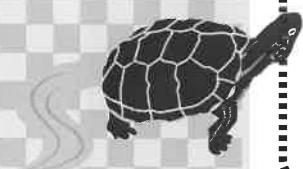
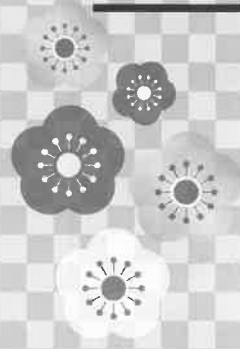
今年の祝賀会では、米寿の該当会員はなく喜寿の会員29名の皆様へお祝い状
と記念品が贈呈され、お祝いを受けられた長寿会員を代表して地田貴美子さんが
お礼のごあいさつをされました。

新年互礼会は、富原豊幸理事長のあいさつで開会しました。

アトラクションでは、甲田の「ひよっとこ踊り」の皆さんの絶妙な振り付けで楽
しいひと時を過ごすことができ、新しい年を迎えて大いに盛り上がりました。

喜寿を迎えられた会員

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 地田貴美子(庄原) | 加島貴志子(庄原) | 増本 常博(高野) |
| 大森 輝吉(庄原) | 砂原 道子(庄原) | 峠 正裕(高野) |
| 大原 重身(庄原) | 中村 律子(庄原) | 津浦ミヤ子(比和) |
| 藤原 清香(庄原) | 栗原 和夫(庄原) | 南場 賢治(比和) |
| 藤本サワ子(庄原) | 伊藤美千子(庄原) | 田川 英子(比和) |
| 古林 武彦(庄原) | 河内 和子(西城) | 富原 豊幸(比和) |
| 矢吹 紀文(庄原) | 小山恵美子(西城) | 友盛 守(比和) |
| 佐々木栗子(庄原) | 田村 茂子(西城) | |
| 田部ユミエ(庄原) | 赤木恵美子(東城) | |
| 藤原恵美子(庄原) | 安部 義貴(東城) | |
| 荒木 常男(庄原) | 安部貴美代(東城) | |



表紙の説明

寒ぼたん(国营備北丘陵公園)

写真提供/シルバー会員 田中 優さん(本町)

■題字/伊藤 昇(元理事長) ■会員スローガン/小池毅司(本村町)

今年も「全国一斉社会奉仕活動」と「地区別懇談会」を実施しました。

「全国一斉社会奉仕活動」は、10月20日を中心に市内7地域で実施しました。参加会員は169名で昨年と比べ18名増となりました。参加会員の4年ぶりの増加は、地区班内で会員同士の誘い合いがあったからだと思います。

また、「地区別懇談会」は、5会場で実施し参加会員は131名でした。こちらも昨年と比べ28名増となりました。

会員からは、就業中の事故について安全意識が低下しているのではないかなど、きびしい意見も出されました。

平成30年度 会員の行事参加状況

	全国一斉社会奉仕活動(10月20日他)		地区別懇談会	
	活動内容	参加会員数	開催日	参加会員数
庄原	上野池公園の環境整備	61名	11月22日(木)	49名
西城	西城駅前広場の環境整備	30名	11月29日(木)	18名
東城	東城支所敷地と街路の環境整備	30名	12月14日(火)	21名
口和	口和運動公園の草刈	12名	11月22日(木)	7名
高野	高野福祉センター等の環境整備	16名	11月30日(金)	15名
比和	いざなみ工房敷地の草刈	14名	11月27日(火)	17名
総領	特養「ユーシャイン」施設の清掃	6名	11月22日(木)	4名
	合計	169名	合計	131名



右の絵は左の絵とちがうところが全部で12個あります。見つけたら○で囲んでください。





庄原の昔話

④小奴可の村長じゃ

小奴可駅開通は、昭和10年6月15日である。

開通までには、用地提供など数年を要した。柳生、松尾、黒田、渡辺村長らが骨を折った。

「小奴可の村長じゃ」と言つて走り出している列車を停止させたのは、柳生一真村長である。

庄原駅で発車時刻に遅れた村長は大声で、「小奴可の村長じゃ、その列車とまれ」とおらんだ。列車が止まったというから開通直後の、のんびりした時代のことだ。

鉄道側も土地提供の世話人である村長のことで、異例のサービスとなつたらしい。

鉄道員で福塩線吉舎駅から小奴可駅長に転任になつた金友利三さんは、「吉舎駅でも『小奴可の村長じゃ』というのをよう聞いてりました。小奴可の代名詞みたいなもんです。」という。

「小奴可の村長じゃ」は、無理なことを承知でこり押ししたり、ワンマンなふるまいをする人に対して使うユーモラスで地方色の



あることわざである。その発生も面白い。

「小奴可の村長じゃ」には、異説がある。

主人公は松尾正八村長だとする説。開通当時の村長は、柳生村長だったのだから、ここでは柳生村長ということしておく。まここでは発生場所は小奴可駅だという人もいる。芸備線165.5キロメートル、44の駅がある。どの駅にしる村長が列車を止めたことは事実らしい。

「小奴可の村長」は地下に眠っているが、ことわざになつて生きている。

「東城の民話を保存する会」より

脳トし まちがいさがし



編集後記

◆十二支最後のイノシシ君の年がやってきた。今年(己亥)の(ちのとい)の干支。己は十干(じつかん)の6番目で草木に例えると成長を終え整った状態。亥は冬の季節にあたり春の芽吹きへ固い種の中でじつとエネルギーを内へ込めている。猪突猛進もいいが、次のステージへ向け栄養豊かな牡丹肉でも頼張りながら力を蓄積する年にするのも己亥年の一策か。

◆健康寿命は、男性72歳、女性74歳と益々長くなった。それにつけても昨夏行方不明児の発見で一躍時の人となったスーパードランティアの80歳に近い尾島春夫さん。人間の体は食べ物でできている。私はおいしいものは食べません。体いいものをたべます。信条の『医は食に、食は農に、農は自然に学べ』が居間に張り出されているという。食も生き方も自然体。こちらも今年の道標の糧としたいところ。

◆1月13日に行われた米寿・喜寿祝賀会と新年互礼会の写真が発刊工程上、間に合わず掲載できなかったのは心苦しい限りです。(お許しを！)



同好会紹介



庄原市シルバー人材センターへは
同好会、研究会など10団体があり、
それぞれ年間をとおして活動しています。
その一部を紹介します。



しめ飾り門松同好会



剪定研究会



陶芸同好会



園芸・苔玉同好会



是非、入会しご活躍ください。



会員募集

特に、草刈り、草取り、剪定などが
できる方を募集しています。
その他いろいろな仕事があります。

入会資格 ○庄原市に居住する60歳以上の方
○健康で働く意欲のある方など

入会説明会 まずは、次の入会説明会へおいで下さい。
○2月20日(水) ○3月20日(水) ○4月22日(月)
○5月20日(月) ○6月20日(木) ○7月22日(月)

いずれも午前10時からシルバー人材センター本所、各支所で行います。
都合が悪い場合はお電話ください。
庄原市シルバー人材センター本所 電話0824-72-1135